

<ケーススタディ 文京学院大学女子中学高等学校の場合>

文京学院大学女子中学高等学校は、通算 10 回目のマレーシアへの修学旅行を実施します。1999 年から企画をあたため、初めて実施したのは 2002 年のこと、生徒指導に対する姿勢と徹底ぶりには目を見張るものがあり、生徒たちには真の豊かさや世界の繋がりについて考えて貰える機会が沢山あると思います。本修学旅行の立ち上げから携わる同校副校長の高石和人先生にお話を伺いました。

【実施日程】 2011 年 2 月 25 日～3 月 2 日

【参加人数】 250 名



Q マレーシアを選んだ理由や、実施経緯をお聞かせください

A 企画が立ち上がったのは 10 年以上前です。その頃はまだ、修学旅行で東南アジアに行くなんてことは浸透していませんでしたし、女子高ということもあり衛生面の心配はつきものでした。トイレは大丈夫か、ですとか、食に関して口にも合うものが少ないのではないかと懸念です。ところが実際に現地を見学すると、使用するだろうトイレの多くは水洗設備が整っており充分使えるものでしたし、安心できる場所だとわかりました。そんな細かな懸念よりむしろ、多民族国家、多国籍文化である古都に惹かれましたし、アジア人同士が英語で交流でき、異文化体験できるのが良いと思いました。行ってみると治安も良く、親日家が多いのも嬉しいです。



Q どのような準備をされましたか？

A 初開催時は、生徒たちに行きとどいた指導ができるようにと、実地踏査にittedだけでなく学校側の援助のお蔭もあり夏休みを利用して研修旅行を企画し、職員旅行として 3 日間マレーシアへ滞在してきました。またマレーシアへの修学旅行が決定し旅程を組んだ後も引率教員の代表者が実際に宿泊するホテルの位置や体験ルートの確認など、シュミレーションするようにして理解を深めてくることができました。生徒と教員が共通理解する事が大事と考えています。



また個人的にマレー語を習いに行き、生徒たちに教えてくれた英語科の教員もいます。

マレー語だけでは十分なコミュニケーションにはなりません、挨拶程度でもマレー語を使って気持ちを伝えようとすると、私たちが思っている以上に現地の人たちは喜んでくれて、こちらも嬉しくなるくらいです。併設大学のマレーシアからの留学生にも毎年本校に来ていただいて、マレーシアの紹介やマレー語の学習会を開いています。

Q 生徒に好評な体験はなんですか？

A どの体験学習に参加するかは選択制ですが、大半の生徒がカンポンビジットを選びます。部活動などを通して先輩たちから修学旅行の話聞き、カンポンビジットは特に、自分もぜひ経験したいと思うようです。民族衣装を着せてもらったり、マレー料理をご馳走になったり、一日生活体験を楽しみます。地元の方と交流したいという思いで5,6年前から始めました。

学校交流は開催当初から実施しており、同じ世代の子供たちと交流できることに生徒たちは喜びます。行く前から現地の学生と英語で手紙をやり取りし、毎年楽しみにしています、相手校には英語が上手な生徒が多いですし、上手くコミュニケーション出来なければショックを受けることもあり、もっと英語力を磨こうと思う生徒が沢山いました。単に海外であれば大人になってからも行けますが、東南アジアで学校交流やカンポンビレッジ、ということはこの先なかなか経験できませんので、国内修学旅行よりもこちらを選択する生徒が断然多いです。



Q 全体を通して、マレーシアへの修学旅行から得られることは？

A 文化や宗教が異なる民族が、互いに理解を示し伸びてゆく姿を見ると者であふれている日本が本当に豊かなのか？ということを感じます。将来の夢は、と聞かれると、このご時世で日本の学生はなかなかスムーズには答えられない雰囲気があります。でもマレーシアの若者たちはスキルを磨いてこんな会社をつかってみたい！などと、目を輝かせて自信を持って語れるような夢があり、それでいてそれらを実現できそうな強い重いとがんばりが感じられます。豊かさとはなんなのか。少々大げさな言い方かもしれませんが、マレーシアへの修学旅行は、豊かさへの旅とも言えると思います。

オランウータンの絶滅危機などを知り、環境問題について考える場面もあります。わたしたちにある便利な生活は、アジアの国々の環境破壊がありながら支えられていたのだということも、見に行けば実際にわかるわけです、

また偶然訪れた私たちをこんなに歓迎しお世話をしてくれ、文化を伝えようとしてくれて、初めて会ってもこんなに良い関係になれるのだと知ると同時に、その迎え入れてくれる心に感動します。生徒たちを見ていると「こうやって人と人の心はつながっている（いく）のだ」と考えられるようになったことが、よくわかります。



文京学院大学女子中学高等学校 修学旅行 行程表

日付	
1日目 2月25日	成田空港発 チャンギ空港着 夕食後、ホテルへ
2日目 2月26日	シンガポール見学 →マレーシア入国後、ホテルへ
3日目 2月27日	～マラッカ市内見学～ オランダ広場、キリスト協会、セント・ポール協会、サンチャゴ砦 クアラルンプールへ ホテル着
4日目 2月28日	コース1:カンボンビジット コース2:マレー料理体験、シラット体験、ピューター工場見学
5日目 3月1日	学校交流 KL市内班別自主研修 昼食(各自) 夕食後、空港へ
6日目 3月2日	朝食(機内) 成田着、解散